令和　7　年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

まちづくり目標	未来につなぐまち	政策名	いつまでも健やかなまちづくり
施 策 No.	20	施 策 名	健康づくりの推進
主管課名	健康センター		
関係課名	市民課　社会福祉課		

10年後の目指す姿	健康意識が高まり、市民一人一人が主体的に健康づくりに取り組んでいます。

施策の現状及び課題	現　状	・早期発見・早期治療を目指し、生活習慣病予防に着目した特定健康診査事業やがん検診に取り組んでいます。 ・日頃からの健康づくりの意識高揚を目的に、健康についての普及啓発に努めるとともに、住民主体の通いの場などの介護予防活動により、生活機能の低下予防に取り組んでいます。 ・夜間や休日の診療体制や高度医療機器設置の支援など、安心して医療を受けられるための事業に取り組んでいます。
	課　題	・日頃からの生活習慣の見直し、健診による早期発見・早期治療、病気になっても重症化しないための取組等、生涯にわたる健康づくりを推進する必要があります。 ・自らの積極的な健康づくり意識の高揚を図る必要があります。 ・安心して医療を受けられる環境の充実を図る必要があります。

施策を進めるための役割分担	行　政	・早期発見・早期治療を目的に各種健診の受診勧奨に努めます。 ・日頃からの健康を意識した生活習慣について普及啓発に努めます。 ・高齢者の通いの場づくりや介護予防教室の充実を図り、生涯を通じた健康づくりの普及啓発に努めます。 ・安心して受診できる医療体制の充実に努めます。
	市　民 ・ 事 業 所	・特定健康診査やがん検診など定期的に受診します。 ・自ら健康的な生活習慣を意識して、生涯にわたる健康づくりに努めます。 ・要介護状態にならないよう、積極的に地域の予防教室等に参加します。

目指す姿の実現のための取組（基本事業）	基本事業①	健康診査体制・予防対策の充実
	基本事業②	自ら取り組む健康づくりの推進
	基本事業③	地域医療体制の充実
	基本事業④	

	区　分	単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度実績
施策のトータルコスト	A. 本施策を構成する事務事業の数	本	28　(22)	24　(18)	24　(18)	23　(16)	22　(16)	
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本	13　(8)	12　(7)	12　(7)	12　(6)	11　(6)	
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本	11　(10)	8　(7)	8　(7)	7　(6)	7　(6)	
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本	4　(4)	4　(4)	4　(4)	4　(4)	4　(4)	
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本						
	B. 事業費　（事務事業の事業費合計）	千円	643,273	551,806	448,642	430,800	407,355	
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	475,198	373,528	264,876	249,307	215,894	
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	36,440	36,944	43,008	38,010	37,606	
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	131,635	141,334	140,758	143,483	153,855	
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円						
	C. 施策に携わる正規職員数合計	人	75	69	72	64	60	
	D. 事務事業に要する年間総時間	時間	22,200	19,640	20,480	20,780	18,870	
	E. 人件費　（D×1時間あたりの平均人件費）	千円	87,091	76,125	81,019	85,281	80,254	
	F. トータルコスト　（B＋E）	千円	730,364	627,931	529,661	516,081	487,609	
効率性指標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費　（定義式　：　B／人口　）	円	15,892	13,823	11,423	11,156	10,718	
	同　上 H. 人件費　（定義式　：　E／人口　）	円	2,152	1,907	2,063	2,208	2,112	
	同　上 I. トータルコスト　（定義式　：　F／人口　）	円	18,044	15,730	13,486	13,364	12,830	
参　考	1時間あたりの平均人件費	円	3,923	3,876	3,956	4,104	4,253	
	魚津市の人口（各年度12月末時点）	人	40,477	39,919	39,274	38,617	38,005	

基本事業概要シート①

施策No.	20	施策名	健康づくりの推進
基本事業名		①健康診査体制・予防対策の充実	
基本事業の目的(意図)		生活習慣病やがんの早期発見のために、市民が受けやすい健康診査体制の充実を図るとともに、感染症の予防に努めます。	
令和7年度における主な事業内容(活動内容)		【特定健康診査等事業費】(施策19①再掲) ・生活習慣病の予防、早期発見のために特定健康診査を実施しました。(R6年度　48.8％)　また、未受診の方には、対象者をセグメント分けをし、分類ごとに通知書による受診勧奨を行いました。 ・健診結果から指導が必要と判定された方に特定保健指導を行いました。(R6年度　48.7％) ・受診者へ魚津市電子地域通貨MiraPay行政ポイント付加(2,000ポイント)を実施しました。(R7年度　476 件) 【がん対策事業】 ・令和7年度のがん検診受診率は　胃がん 21.1％、 大腸がん 26.1％、 肺がん 34.5％　乳がん 26.4％、 子宮がん 27.8％ でした。 ・子宮頸がん検診に併せて実施するHPV検査について、25、30、35、40、45歳を対象に実施しました。　(R7年度　90人) 【乳幼児予防接種事業】 ・国が示す内容に基づき、対象者へ個別の案内に併せて広報等による周知に努めました。 ・HPVワクチンの定期予防接種の積極的勧奨、及び案内を控えていた年代(平成9年度～平成19年度生まれ)の対象者に対するキャッチアップ接種(最終年度までの追加接種を)を実施しました。(定期接種　延 174回　、キャッチアップ　延 158回) ・子ども及び妊婦のインフルエンザ予防接種について、未就学児も対象に追加した。2歳未満と妊婦を除き、経鼻弱毒性インフルエンザワクチンも助成の対象とした。 【高齢者予防接種事業】 ・国が示す方針に基づき、高齢者予防接種事業として肺炎球菌予防接種(接種率35.2%)、インフルエンザワクチン接種(接種率48.2%)、新型コロナウイルスワクチン接種(接種率8.0%)に加え、令和7年度から新たに帯状疱疹定期予防接種(生ワクチン及び不活化ワクチン1回接種率33.1%)を実施しました。	

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(中間目標値)	12年度(目標値)
国保特定健康診査受診率	%	45.4	43.6	50.0	55.0	60.0	47	50	60
				44.4	45.6	47.4	48.8	速報値　10月頃	
国保特定保健指導実施率	%	36.0	36.3	40.0	50.0	60.0	40	44	60
				36.3	32.9	44.3	48.7	速報値　10月頃	

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など)　－:評価対象外事業)

No.	会計名		事務事業名	令和7年度 予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	うち次年度繰越額(円)	評価結果	担当課
1	一般会計	○	健康診査事業	1,432,000	1,029,693	402,307	0	B	健康センター
2	一般会計	○	がん対策事業	64,068,430	59,884,879	4,183,551	0	B	健康センター
3	一般会計	○	次世代を担う女性の健康づくり事業	3,115,870	2,991,479	124,391	0	B	健康センター
4	一般会計	○	高齢者予防接種事業	60,084,880	51,876,437	8,208,443	0	B	健康センター
5	一般会計	○	乳幼児予防接種事業	77,130,000	67,989,117	9,140,883	0	A	健康センター
6	一般会計	○	風しん追加的対策事業	87,120	87,120	0	0	B	健康センター
7	国民健康保険事業特別会計	○	特定健康診査等事業費	30,145,000	22,622,101	7,522,899	0	B	健康センター
8	国民健康保険事業特別会計	○	疾病予防費	6,200,000	5,325,000	875,000	0	A	健康センター
9	一般会計	○	子宮頸がん検診HPV検査事業	896,700	593,723	302,977	0	B	健康センター
10	一般会計	○	がん患者補正具購入費用助成事業	600,000	580,500	19,500	0	B	健康センター
11	後期高齢者医療事業特別会計		健康診査等事業費	3,223,000	2,914,083	308,917	0	－	健康センター
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
合　計				246,983,000	215,894,132	31,088,868	0		

基本事業概要シート②

施策No.	20	施策名	健康づくりの推進
基本事業名		②自ら取り組む健康づくりの推進	
基本事業の目的(意図)		市民自らが健康意識を高め、こころとからだの健康づくりの推進に努めます。また、地域に密着した介護予防の取組を行い、高齢者の介護予防の意識を高めます。	
令和7年度における主な事業内容(活動内容)		【地域自殺対策事業】 ・自殺予防普及啓発活動として、庁内や図書館に啓発用ティッシュを配置しました。併せて、図書館では普及啓発コーナーを設置しました。 ・ゲートキーパー養成講座を市内にある職業訓練学校の教員を対象に1 回開催しました。(参加者40名)。また、関係者によるネットワーク会議を書面開催し、第2期いのち支える魚津市自殺対策行動計画の進捗状況を確認しました。 ・「うおづこころの相談窓口」に延14件(実12件)の相談がありました。 【健康づくり推進事業】 ・各地区での健康づくりに関する講座や教育を行いました(154回、延参加者3,248人)。また、食生活改善推進員の養成と育成に努めました。(養成5回延参加者51人、育成6回参加者212人) ・健康づくりの啓発として、引き続きミラたん健康ポイント事業を実施し、参加者は 893人(のべ1,359通) でした。また、野菜摂取普及啓発の取り組みとしてポスターやチラシを作成とベジチェック測定を実施し、参加者は908人でした。イベントやがん検診会場での骨密度測定を計4回行い、参加者259人でした。 【保健衛生普及事業(ヘルスアップ)】 ・生活習慣病重症化予防の取組みとして糖尿病、高血圧、腎臓病の教室を実施しました。(3回 延参加者 182人)また、高血糖・高血圧・脂質異常等の者に対し、個別保健指導を266名に実施しました。(高血糖50名、高血圧75名、腎臓40名、脂質異常101名) ・災害医療をテーマに市民公開講座を開催しました。(参加者数 152人) 【高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業及び介護予防普及啓発事業】 ・サンプラザにおいて「さんさん介護予防倶楽部」を開催しました。 (192日/年 延参加者数 17,021人) ・地域における介護予防活動である「ふれあい・いきいきサロン」(81か所 延参加者数 16,271人) や「いきいき百歳体操」(34か所 延参加者数 716人)を支援しました。 ・一般高齢者を対象に、フレイル予防の普及啓発を目的とした教室(からだ測定会+プラス42回延参加者数298人、その他健康教育175回 延参加者数 2,341人)を開催しました。	

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(中間目標値)	12年度(目標値)
健康寿命(男性) (H29 79.33 歳)	歳	79.93	79.84	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加					平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加
				79.14	79.70	80.37	R9.2頃算出	R10.2頃算出	
健康寿命(女性) (H29 84.63 歳)	歳	85.64	85.28	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加					
				84.08	83.56	85.58	R9.2頃算出	R10.2頃算出	
自立高齢者の割合	%	81.1	80.6	81.5	81.5	82.0	82.0	82.0	82.0
				80.6	80.6	80.4	80.1	80.1	

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) −:評価対象外事業)

No.	会計名		事務事業名	令和7年度 予算現額(円)	決 算 額(円)	予算残額(円)	うち次年度繰越額(円)	評価結果	担当課
1	一般会計	○	地域自殺対策事業	381,000	274,747	106,253	0	B	社会福祉課
2	一般会計	○	健康づくり推進事業	2,179,000	1,434,113	744,887	0	B	健康センター
3	国民健康保険事業特別会計	○	保健衛生普及事業	10,245,000	7,143,720	3,101,280	0	B	健康センター
4	一般会計	○	地域介護予防活動支援事業	22,569,000	21,980,382	588,618	0	A	健康センター
5	介護保険事業特別会計	○	介護予防普及啓発事業	6,270,000	2,567,567	3,702,433	0	A	健康センター
6	介護保険事業特別会計	○	介護予防把握事業	342,000	242,170	99,830	0	A	健康センター
7	後期高齢者医療事業特別会計	○	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業	5,381,400	3,963,157	1,418,243	0	A	健康センター
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
合 計				47,367,400	37,605,856	9,761,544	0		

基本事業概要シート③

施策No.	20	施策名	健康づくりの推進
基本事業名		③地域医療体制の充実	
基本事業の目的(意図)		市民が安心して暮らすことができるよう、健康を支える医療体制の充実を図ります。	
令和7年度における 主な事業内容(活動内容)		【一次救急体制支援事業】 ・魚津市医師会へ「在宅当番医制運営事業」を委託し、日曜・祝日の昼間に、軽症の患者さんに対する救急医療を実施しました。 令和7年度は、延 76 日 2,083人 (平均 173.6人/月)の利用がありました。 ・富山労災病院、魚津市医師会、市との間で協定を締結し、平成28年4月に労災病院内に、軽症の患者さんに対応する「魚津市急患センター」を開設しました。 全日 19時～22時の時間帯で対応しており、令和7年度は、延 404人(平均 33.6人/月)の利用がありました。 【地域中核病院支援事業】 ・市内唯一の総合病院である富山労災病院に対し「がん診療地域連携拠点病院(県指定 R1.8.1～)」としての対応を充実するとともに、心疾患や脳血管疾患への速やかな治療など、市民が安心して受けられる地域医療の充実を図るため、コンピューター断層撮影装置(CT)、核磁気共鳴画像装置(MRI)、血管造影撮影装置(DSA)の設置について、財政的支援を継続しました。(平成28年11月より設置) また、令和5年度から整形外科医療機器の導入支援を行いました。 また、急性期病床を持つ病院の経営状況が全国的に厳しい状況にあるなかにおいて、引き続き富山労災病院が魚津市における地域医療の中核的役割を担っていけるよう令和8年度から令和10年度にかけて「新たな支援」の実施を決定した。併せて12月1日付けで民生部長を室長とする地域医療支援室を立ち上げました。	

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
魚津市急患センター受診者数	人	664	487	670	670	680	690	700	700
				518	441	448	408	404	

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和7年度 予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	うち次年度繰越額(円)	評価結果	担当課
1	一般会計	○ 一次救急体制支援事業	15,202,000	14,438,962	763,038	0	B	健康センター
2	一般会計	○ 地域中核病院支援事業	111,938,000	107,777,731	4,160,269	0	B	健康センター
3	一般会計	健康センター運営事業	29,359,000	27,638,092	1,720,908	0	-	健康センター
4	一般会計	○ 産婦人科医療体制整備事業	4,000,000	4,000,000	0	0	B	健康センター
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
合計			160,499,000	153,854,785	6,644,215	0		

施策No.	20	施策名	健康づくりの推進

令和7年度の評価結果（基本事業の成果を考慮し記載）

1. 施策（基本事業）の成果水準とその背景
（成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述）

【①健康診査体制・予防対策の充実】
◆特定健康診査受診率は　R6年度　48.8%（R3年度 44.4% R4年度 45.6% R5年度　47.4%）と増加の傾向が見られます。
◆特定保健指導率は　R6年度　48.7%（R3年度 36.3% R4年度 32.9% R5年度　44.3%）と増加の傾向が見られます。
◆令和7年度のがん検診の受診率は、前年度と比べてやや減少しています。
胃がん R6年度22.1 %⇒R7年度21.1%、大腸がん R6年度26.3%⇒R7年度26.1% 、乳がん R6年度28.5 %⇒R7年度26.4% 、子宮がん R6年 28.7 %⇒R7年度27.8%
◆高齢者の帯状疱疹ワクチンが令和7年度から定期接種化され、接種率は33.1%です。
◆HPVワクチン接種者は R7年度 延べ174回（R6年度 延 275回、R5年度 延 237回）であり、キャッチアップ接種の積極的勧奨が減ったため接種者は減少の傾向が見られます。また、案内を控えていた年代（平成9年度～平成19年度生まれ）の対象者に対するキャッチアップ接種は最終年度の追加接種分の延長ということもありR7年度延 158回（ R6年度 延 889回 、R5年度 延 244回）となっています。

【②自ら取り組む健康づくりの推進】
◆市独自で算出する健康寿命については、令和4年と令和5年を比較して男女とも平均寿命を上回る健康寿命の延伸がみられます（男性：平均寿命0.53歳の減少に対し健康寿命0.41歳の減少⇒0.12歳の延伸、女性：平均寿命0.65歳の減少に対し健康寿命0.45歳減少⇒0.20歳の延伸）。
◆健康づくりの意識を高めるため「ミラたん健康ポイント事業」を継続して実施しました。参加者は R7年度 893人 （R6年度 983人） となっています。野菜摂取普及啓発の取り組みであるベジチェック測定は、R7年度参加者908人でした（R6年度 715人、R5年度 410人、R4年度 355人）。骨密度測定は259人に行いました。
◆要介護度別人数の分布状況では、要支援1～要介護5のうち、要介護1～5認定者数は R3 年度 71.3%だったものが、R7年度は67.2%と 4.1 ポイント減少しています。（R4：69.2%、R5：68.4%、R6：67.7%）。県全体でも2.9 ポイントの減少であり、健診や介護予防事業の対策等が有効に機能しているものと考えられます。

【③地域医療体制の充実】
◆市民が利用できる休日及び夜間の初期救急は、「魚津市急患センター」（富山労災病院内）、「在宅当番医制」（魚津市医師会）、「新川医療圏小児急患センター」（黒部市民病院内）により、休日、祝祭日の日中及び19時から22時までの診療体制が整っています。 県内では、初期急患センターは、富山、高岡、砺波医療圏に1か所設置され、内科・小児科等の診療を行っています。
◆魚津市急患センターの受診者数は、コロナ禍前と比較して減少傾向にあります。（R元年度 55.3人／月 R7年度 平均 33.6人／月）。また、在宅当番医制の診療状況でも同様の傾向が見られます。（R元年度 190.8人／月 R7年度 平均 173.6人／月 ）
◆富山労災病院（公的病院）に対するがん診療及び整形外科診療のための医療機器導入補助等については、同じく公立病院を持たない滑川市、小矢部市においても実施されています。
◆近年、急性期病床を持つ総合病院の経営状況が全国的に厳しい状況にあります。また、人口減少により、病床数の削減や病床機能の見直しが求められています。

2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み（事務事業）の総括
（令和7年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述）

【①健康診査体制・予防対策の充実】
＜健康診査事業・がん対策事業＞
◆特定健診未受診者に対する勧奨方法を見直し、レセプトデータ等を活用した効果的な受診勧奨通知を行うとともに、受診者に対するありそドームの無料利用特典、MiraPay行政ポイント付与（健診データ提供者含む）などの工夫を継続し、受診率の向上が見られます。
◆若年層に対し、自宅でできる「スマホdeドック」事業により、健康づくりの意識啓発を図りました。
◆がん検診受診率向上を目的として、効果的なパンフレットを活用した受診勧奨、節目年齢の方への検診自己負担金軽減、特定健康診査とがん検診の同時実施、休日検診の設定やがん検診時の託児を行いましたが、受診率は若干低下しました。
＜乳幼児予防接種事業＞
◆子ども及び妊婦のインフルエンザ予防接種について、未就学児も対象に追加しました。2歳未満と妊婦を除き、経鼻弱毒性インフルエンザワクチンも助成の対象とし受けやすい体制を整えました。

【②自ら取り組む健康づくりの推進】
＜地域自殺対策事業＞
◆全国同様、本市においても小中高生等の自殺者数が少なくないことから、市内高校の教員を対象とした「ゲートキーパー養成講座」を開催し、自殺予防につなげました。
＜健康づくり推進事業＞
◆特定健診結果から生活習慣病重症化予防対象者を抽出し、保健指導や教室を行うことで、市民自らが生活習慣改善に取り組めるようすすめています。
◆健康づくりの動機付けとして、”ミラたん健康ポイント事業”を継続しています。参加者からは「健康づくりの励みになる」などの意見をいただいております。ベジチェック測定による野菜の推定摂取量や、骨密度値低を行い、数値化して示すことで、健康づくりの意識の高揚を図っています。
＜介護予防普及啓発事業＞
◆サンプラザで実施する「さんさん介護予防倶楽部」は、前年度同様多くの高齢者に参加いただきました。地域で開催される「ふれあい・いきいきサロン」、「いきいき百歳体操」等の介護予防の取り組みも併せて、介護が必要な状態にならないようフレイル予防意識の高まりが期待されます。
＜高齢者の保健事業と介護予防の一体化実施事業＞
◆国保保健事業、後期高齢者保健事業、介護予防（普及啓発事業）を一体的に実施することで、保険種別による切れ目のない、より効果的な健康づくりとなるよう各種事業に取組みました。

【③地域医療体制の充実】
＜地域中核病院支援事業＞
◆富山労災病院に対し、高度医療機器の導入等の支援を行うことで、地域医療の充実が図られ、市民がより利用しやすい病院となっています。

3. 施策の課題認識及び取り組み状況
（前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述）

【①健康診査体制・予防対策の充実】
◆各種健診の受診率には一層の伸びが望まれることから、積極的な受診勧奨に努めます。
◆各種予防接種（乳幼児・高齢者）は、国の方針に基づき、接種を希望する人が確実に接種できるよう引き続き周知に努めます。
◆がん検診により“要精密検査”対象となった方が100%受診されるよう継続して受診勧奨に努めます。

【②自ら取り組む健康づくりの推進】
◆令和8年3月に策定した「第3次魚津市健康増進プラン」に基づき、施策をすすめていきます。
◆高血圧や糖尿病の発症予防と重症化予防に取組みます。
◆魚津市医師会や富山労災病院、関係機関と連携を図りながら、各種教室や相談、訪問指導等を実施していきます。
◆「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」について、関係機関と充分に連携を図り実施していきます。
◆骨折や整形疾患が要支援の原因となっている場合が多く、フレイル予防や活動性を高める取組みを推進します。
◆令和5年度に策定した「魚津市国民健康保険 第3期保健事業計画（データヘルス計画） 計画期間：令和6年度～11年度」や「魚津市高齢者保健福祉計画 計画期間：令和6年度～8年度」に基づき各種事業に取組みます。
◆本市における自殺の実態を踏まえ、令和7年度も教育関係者を対象に「ゲートキーパー養成講座」を開催し、自殺者数の減少を目指します。

【③地域医療体制の充実】
◆市内の「魚津市急患センター」、「在宅当番医制」及び「新川医療圏小児急患センター」を含めて、初期の救急対応が継続できる体制について検討を重ねます。
◆市内唯一の中核的病院である富山労災病院に対して、高度医療機器「コンピューター断層撮影装置（CT）、核磁気共鳴画像装置（MRI）、血管造影撮影装置（DSA）」等の設置支援や、婦人科診療支援など、市民が安心して受けられる地域医療体制の充実に向けた取組みを継続します。
◆富山労災病院が地域医療ニーズにマッチした病院となり、安定的に地域医療の中核的役割を担っていけるよう、富山労災病院が取り組む経営改善計画の取り組みを注視しながら、適切な支援を継続して実施していく必要があります。